



尚徳福祉会
おぐら保育園

3月 いちご組だより



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。今年度も残りわずか。この一年を振り返り、一人一人自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に、うれしさを感じているこの頃です。暖かくなってきたので、今月は積極的に戸外に出かけて、園庭遊びやお散歩などを通して春に触れていきたいと思っています。



はじめての雪遊び



今年の冬は暖冬と言われていましたが、2月は寒い日も多くありました。その中で雪が降った日の事。お昼寝から起きて窓の外に雪が降ってくるのを見て「あっ！」と言って不思議そうに指をさし保育士に知らせてくる姿が見られました。雨は普段から見慣れています、その雨と雪の違いを何となくですが理解していることに感心しました。

次の日は園庭に少し雪が積もっていたので、雪に触れに出かけました。少しぬかるんだ雪の中をわき目も降らずに歩き進める子、少し緊張の面持ちでそっと雪に手を伸ばす子、雪に触れて冷たさに驚き手を雪からはなす子といろいろな姿が見られました。冬の季節ならではの、とても良い刺激と経験になったのではないかと思います。



衣服の見直しをお願いします

自分で出来ることが増えてきて衣服の着脱に興味を持ち始めた子がいます。子どもたちには日ごろの着替えでは、上位は腕を抜いてから頭を抜いて脱ぐ方法で保育者が一緒に行っています。子どもたちはこれから“自分で”の気持ちがかんたん大きくなっていきます。着替えの際に、自分で脱ぎ着しやすい服であると、やる気や出来たことの達成感に繋がりがやすくなります。ピタピタのサイズや極端に翁サイズの服ですと着脱しにくくまた、遊びの中で動きにくくなってしまふことがあります。今後衣服を新しく購入する際には、ゆとりのある服や上下別れた肌着(ロンパースでないもの)など、子どもにとって自分で着脱しやすい服を購入してみるとよいと思います。



一年を振り返って 「こんなに大きくなりました」



- ・笑顔で過ごせる
- ・自分で手やスプーンでご飯を食べる
- ・言葉が出始める
- ・自分でズボンをはこうとする
- ・歩く
- ・走る
- ・投げる
- ・いたずらする
- ・友だちと関わる
- ・手をつなぐ
- ・よじのぼる
- ・バイバイする

出来るようになったことがこんなにたくさん！！

入園当初はお家の方と離れて過ごすことに不安を感じて涙が出ていた子どもたちですが、今では園生活にすっかり慣れて笑顔で登園できるようになりましたね。園での生活で、毎日いろいろな表情を見せてくれた子どもたち。この一年の成長はとても大きなものだったと思います。一緒に過ごして成長を見守ることが出来てとても嬉しくまた幸せに思います。残り1か月を大切に楽しく過ごしていきたいと思っています。保護者の方にはたくさんのご協力をいただきありがとうございました。